



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社  
 コード番号 7287 URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 正二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311  
 シニアマネジャー  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	140,180	11.2	8,318	△24.6	10,901	54.0	6,339	77.1
24年3月期第3四半期	126,104	2.7	11,033	△4.3	7,077	23.3	3,578	55.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,091百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △455百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	110 66	110 58
24年3月期第3四半期	62 47	62 45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	214,257	104,546	46.0
24年3月期	207,632	96,243	43.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 98,644百万円 24年3月期 91,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7 00	—	11 00	18 00
25年3月期	—	7 00	—		
25年3月期(予想)				7 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	2.3	10,000	△26.0	11,000	△26.0	6,000	△19.0	104 74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月6日発表の業績予想を変更していません。  
 なお、今後の業績の推移、為替動向等を見極め、必要に応じ、業績の見直しを行う予定であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 日精儀器武漢有限公司  
除外 一社(社名) 一

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	60,907,599株	24年3月期	60,907,599株
25年3月期3Q	3,623,628株	24年3月期	3,621,394株
25年3月期3Q	57,284,950株	24年3月期3Q	57,289,629株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復力の弱い状態が継続しました。米国では緩やかな景気回復状態にあるものの、欧州債務危機問題の長期化による景気低迷が、新興国の経済成長に減速影響を及ぼし、世界経済全体として成長の勢いに鈍化傾向がみられました。

日本経済は、震災復興需要の本格化、需要を下支えしていたエコカー補助金の政策効果等により持ち直しがみられたものの、海外経済の減速等の影響により景気は足踏み状態が続いております。

このような事業環境においても、当社グループでは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」(コスト・技術・物流・サービス)の強化を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は140,180百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益は8,318百万円(前年同期比24.6%減)、経常利益は10,901百万円(前年同期比54.0%増)、四半期純利益は6,339百万円(前年同期比77.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器が増加し、売上高は102,333百万円(前年同期比9.5%増)となりましたが、営業利益は6,965百万円(前年同期比30.0%減)となりました。

民生機器事業は、アミューズメント向け基板ユニット等の増加により、売上高は11,439百万円(前年同期比20.3%増)となりましたが、営業損失339百万円(前年同期は153百万円の営業利益)となりました。

ディスプレイ事業は、液晶ディスプレイが増加しましたが、売上高は3,054百万円(前年同期比0.6%減)となりました。営業損益は、原価低減活動などにより営業利益163百万円(前年同期は261百万円の営業損失)となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上高は14,469百万円(前年同期比17.2%増)、営業利益は307百万円(前年同期比80.5%増)となりました。

その他は、ソフトウェア開発・販売、樹脂材料の加工・販売、貨物運送等が増加し、売上高は8,882百万円(前年同期比14.6%増)、営業利益は1,567百万円(前年同期比52.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ6,624百万円増加し、214,257百万円となりました。これは流動資産で受取手形及び売掛金、有価証券の減少がありましたが、流動資産で現金及び預金が2,046百万円、たな卸資産が1,125百万円、有形固定資産が1,732百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度に比べ1,677百万円減少し、109,710百万円となりました。これは固定負債で長期借入金が4,800百万円増加しましたが、流動負債で支払手形及び買掛金が3,003百万円、短期借入金が2,354百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度に比べ8,302百万円増加し、104,546百万円となりました。これは利益剰余金が5,300百万円、為替換算調整勘定が2,400百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月6日発表の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の業績の推移、為替動向等を見極め、必要に応じ、業績の見直しを行う予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社の特定子会社である日精儀器武漢有限公司を重要性が増したため、同社を連結子会社としました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	76,344	78,391
受取手形及び売掛金	34,730	34,197
有価証券	300	—
商品及び製品	9,486	9,460
仕掛品	3,848	4,142
原材料及び貯蔵品	12,151	13,008
その他	9,434	11,208
貸倒引当金	△120	△138
流動資産合計	146,175	150,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,993	10,604
機械装置及び運搬具（純額）	7,604	8,143
工具、器具及び備品（純額）	2,581	2,699
土地	14,202	14,568
リース資産（純額）	658	492
建設仮勘定	1,166	2,429
有形固定資産合計	37,205	38,938
無形固定資産		
のれん	511	414
その他	1,593	2,255
無形固定資産合計	2,104	2,670
投資その他の資産		
投資有価証券	21,017	20,784
その他	1,139	1,604
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	22,146	22,378
固定資産合計	61,456	63,986
資産合計	207,632	214,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,182	27,179
短期借入金	57,524	55,170
未払法人税等	3,100	2,049
賞与引当金	1,915	1,817
役員賞与引当金	—	166
製品補償損失引当金	982	919
受注損失引当金	—	0
その他	12,770	12,494
流動負債合計	106,476	99,796
固定負債		
長期借入金	2	4,803
退職給付引当金	2,436	2,297
役員退職慰労引当金	175	174
資産除去債務	49	51
その他	2,247	2,587
固定負債合計	4,912	9,913
負債合計	111,388	109,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,492	6,491
利益剰余金	81,886	87,187
自己株式	△6,272	△6,273
株主資本合計	96,601	101,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,291	3,222
為替換算調整勘定	△8,877	△6,477
その他の包括利益累計額合計	△5,586	△3,255
新株予約権	17	32
少数株主持分	5,211	5,868
純資産合計	96,243	104,546
負債純資産合計	207,632	214,257

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	126,104	140,180
売上原価	99,065	115,322
売上総利益	27,039	24,857
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,236	3,410
従業員給料	5,365	5,647
貸倒引当金繰入額	0	16
賞与引当金繰入額	163	435
役員賞与引当金繰入額	165	126
製品補償損失引当金繰入額	—	74
退職給付引当金繰入額	65	56
役員退職慰労引当金繰入額	50	28
その他	6,958	6,744
販売費及び一般管理費合計	16,006	16,539
営業利益	11,033	8,318
営業外収益		
受取利息	675	673
受取配当金	189	211
為替差益	—	1,590
その他	505	387
営業外収益合計	1,370	2,863
営業外費用		
支払利息	217	226
為替差損	5,074	—
その他	34	53
営業外費用合計	5,326	279
経常利益	7,077	10,901
特別利益		
固定資産売却益	14	19
負ののれん発生益	42	—
その他	9	—
特別利益合計	65	19
特別損失		
固定資産売却損	8	8
固定資産除却損	21	33
減損損失	205	—
投資有価証券評価損	37	30
独禁法関連損失	—	80
特別損失合計	273	153
税金等調整前四半期純利益	6,868	10,767
法人税、住民税及び事業税	1,873	3,994
法人税等調整額	668	△17
法人税等合計	2,542	3,976
少数株主損益調整前四半期純利益	4,326	6,790
少数株主利益	748	451
四半期純利益	3,578	6,339

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,326	6,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,732	△69
為替換算調整勘定	△3,050	2,369
その他の包括利益合計	△4,782	2,300
四半期包括利益	△455	9,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△788	8,670
少数株主に係る四半期包括利益	332	421

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	ディスブ レイ事業	自動車販 売事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	93,424	9,512	3,071	12,347	118,356	7,748	126,104	—	126,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	103	36	140	7,015	7,155	△7,155	—
計	93,424	9,512	3,175	12,384	118,496	14,763	133,260	△7,155	126,104
セグメント利益又は損失(△)	9,951	153	△261	170	10,015	1,027	11,042	△9	11,033

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である賃貸用不動産について、収益性が低下したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては205百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	ディスブ レイ事業	自動車販 売事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	102,333	11,439	3,054	14,469	131,297	8,882	140,180	—	140,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	137	36	173	9,888	10,062	△10,062	—
計	102,333	11,439	3,191	14,506	131,471	18,771	150,242	△10,062	140,180
セグメント利益又は損失(△)	6,965	△339	163	307	7,097	1,567	8,664	△346	8,318

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△346百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(2) 前連結会計年度から、従来「その他」に含めておりました「自動車販売事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

比較情報は当該変更後の区分に基づき組替えているため、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間における報告セグメントと当四半期連結累計期間における報告セグメントとの間に相違がみられます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。